



2019年9月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社 大森屋
 コード番号 2917 URL <http://www.ohmoriya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲野 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中田 勝
 定時株主総会開催予定日 2019年12月19日 配当支払開始予定日 2019年12月20日
 有価証券報告書提出予定日 2019年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6464-1198

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期の連結業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	18,470	3.8	361	19.5	370	17.9	232	63.3
2018年9月期	17,786	6.7	448	118.8	451	110.8	632	599.8

(注) 包括利益 2019年9月期 161百万円 (74.1%) 2018年9月期 623百万円 (329.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年9月期	45.79		2.3	2.7	2.0
2018年9月期	124.61		6.3	3.4	2.5

(参考) 持分法投資損益 2019年9月期 百万円 2018年9月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	12,907	10,343	80.1	2,039.49
2018年9月期	14,422	10,258	71.1	2,022.68

(参考) 自己資本 2019年9月期 10,343百万円 2018年9月期 10,258百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年9月期	450	540	136	1,556
2018年9月期	985	545	286	2,686

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年9月期		0.00		15.00	15.00	76	12.0	0.7
2019年9月期		0.00		15.00	15.00	76	32.8	0.7
2020年9月期(予想)		0.00						

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,540	1.1	210	14.7	215	14.2	130	20.7	25.63
通期	18,860	2.1	440	21.8	450	21.3	260	12.0	51.27

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期	5,098,096 株	2018年9月期	5,098,096 株
期末自己株式数	2019年9月期	26,520 株	2018年9月期	26,520 株
期中平均株式数	2019年9月期	5,071,576 株	2018年9月期	5,072,024 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年9月期の個別業績(2018年10月1日～2019年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期	18,396	3.9	364	20.7	373	16.2	234	62.5
2018年9月期	17,708	6.6	459	108.6	445	94.3	626	795.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期	46.31	
2018年9月期	123.49	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期	12,861	10,350	80.5	2,040.88
2018年9月期	14,370	10,247	71.3	2,020.64

(参考) 自己資本 2019年9月期 10,350百万円 2018年9月期 10,247百万円

2. 2020年9月期の個別業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,508	1.1	218	14.2	133	20.4	26.22
通期	18,755	2.0	446	19.3	256	9.0	50.48

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する注記は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後 様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページの「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14
役員の異動	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の継続的改善等により、企業収益・設備投資が堅調であったことから、緩やかな回復基調であったものの、海外経済の不確実性などにより景気の先行きは不透明で推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境といたしましては、消費者の節約志向、低価格志向は恒常化しており、また今収穫期における原料海苔は記録的な不作となり仕入価格が高騰するなど、大変厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社では、物流費、人件費をはじめとするコスト増に対応するべく効率的な生産活動に努めてまいりましたが、原料海苔価格が高騰したことから、2019年6月に家庭用海苔製品の販売価格改定を実施いたしました。また、海苔以外の新製品開発にも重点を置き、積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、売上高は18,470百万円（前期比3.8%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は361百万円（前期比19.5%減）、経常利益は370百万円（前期比17.9%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期にあった不動産の譲渡による固定資産売却益（特別利益）が当期はなかったことなどから232百万円（前期比63.3%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、第1四半期連結会計期間より、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを「食品製造販売事業」のみに変更しております。その結果、当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、売上高を品目別に分類しますと、家庭用海苔につきましては、高品質の原料海苔を使用した製品の販売に注力した結果、売上高は7,218百万円（前期比2.2%増）となりましたが、進物品につきましては、ギフト市場の低迷により、売上高は1,243百万円（前期比5.5%減）となりました。ふりかけ等につきましては、既存品は苦戦を強いられたものの新製品が寄与し、売上高は3,795百万円（前期比0.8%増）となりました。業務用海苔につきましては、新規取引先の開拓に加え既存取引先での販売が増加し、売上高は6,140百万円（前期比10.0%増）となりました。その他につきましては、売上高は72百万円（前期比16.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の分析

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,515百万円減少し、12,907百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,296百万円減少し、10,059百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,129百万円、受取手形及び売掛金が374百万円それぞれ減少した一方、たな卸資産が131百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて218百万円減少し、2,848百万円となりました。これは主に、有形固定資産が118百万円、投資有価証券が73百万円、繰延税金資産が37百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,386百万円減少し、1,945百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が680百万円、未払金が303百万円、未払法人税等が276百万円、その他の流動負債が133百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて213百万円減少し、618百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が203百万円、長期借入金が72百万円それぞれ減少した一方、長期未払金が44百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて85百万円増加し、10,343百万円となりました。これは主に、利益剰余金が156百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が56百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて1,129百万円減少し、1,556百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は450百万円（前連結会計年度末は985百万円の収入）となりました。これは主に仕入債務の減少額689百万円（前連結会計年度末は268百万円の増加）、役員退職慰労引当金の減少額203百万円（前連結会計年度末は41百万円の増加）、たな卸資産の増加額131百万円（前連結会計年度末は309百万円の減少）の支出があった一方、税金等調整前当期純利益373百万円（前連結会計年度比503百万円減）、減価償却費238百万円（前連結会計年度比81百万円増）の収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は540百万円（前連結会計年度末は545百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出512百万円（前連結会計年度比264百万円減）、無形固定資産の取得による支出20百万円（前連結会計年度比20百万円増）があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は136百万円（前連結会計年度末は286百万円の収入）となりました。これは主に配当金の支払額75百万円（前連結会計年度比0百万円減）、長期借入金の返済による支出60百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年9月期	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期
自己資本比率	79.7	79.3	77.9	71.1	80.1
時価ベースの自己資本比率	40.2	37.4	36.7	33.1	31.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	0.4	△0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ	△831.8	297.6	△254.6	799.5	△305.6

(注)

1. 各指標はいずれも以下の算式により算出しております。

自己資本比率 自己資本÷総資産

時価ベースの株主資本比率 株式時価総額÷総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ 営業キャッシュ・フロー÷利払い

2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を使用しております。

5. 2015年9月期、2016年9月期、2017年9月期の各期末は、有利子負債期末残高が無い場合、キャッシュ・フロー対有利子負債比率は記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く市場環境は、消費者の生活防衛意識の高まりから、依然として節約志向、低価格志向が続いており、また、主要原材料である原料海苔は仕入価格が高騰するなど、大変厳しい環境が続くものと想定されます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、原材料の高騰に対応するため、生産活動の効率化やコスト削減に注力するとともに、積極的な販売活動の展開、新製品の開発に注力し、売上目標・利益目標の達成と経営効率の向上に向けての努力を続けてまいります。

次期(2020年9月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高18,860百万円、営業利益440百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益260百万円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,686,242	1,556,799
受取手形及び売掛金	3,282,444	2,907,767
たな卸資産	5,371,461	5,502,639
その他	15,119	91,810
流動資産合計	11,355,267	10,059,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,771,520	2,811,913
減価償却累計額	△1,826,163	△1,881,661
建物及び構築物(純額)	945,356	930,252
機械装置及び運搬具	2,448,495	2,504,890
減価償却累計額	△1,693,423	△1,855,152
機械装置及び運搬具(純額)	755,072	649,738
土地	721,179	721,179
建設仮勘定	—	6,907
その他	264,979	110,949
減価償却累計額	△246,733	△97,198
その他(純額)	18,246	13,750
有形固定資産合計	2,439,854	2,321,828
無形固定資産	15,852	26,904
投資その他の資産		
投資有価証券	434,277	360,867
繰延税金資産	142,380	104,891
その他	37,573	36,718
貸倒引当金	△2,300	△2,500
投資その他の資産合計	611,931	499,978
固定資産合計	3,067,638	2,848,711
資産合計	14,422,906	12,907,727
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,409,753	729,240
短期借入金	60,500	72,600
未払金	1,214,442	910,653
未払法人税等	286,479	10,045
賞与引当金	91,408	86,327
その他	270,093	137,090
流動負債合計	3,332,677	1,945,957
固定負債		
役員退職慰労引当金	203,854	—
退職給付に係る負債	325,676	344,389
長期未払金	—	44,045
長期借入金	302,500	229,900
固定負債合計	832,031	618,335
負債合計	4,164,708	2,564,293

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,340	814,340
資本剰余金	1,043,871	1,043,871
利益剰余金	8,281,693	8,437,833
自己株式	△25,774	△25,774
株主資本合計	10,114,130	10,270,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,830	95,707
為替換算調整勘定	9,777	7,601
退職給付に係る調整累計額	△17,540	△30,145
その他の包括利益累計額合計	144,066	73,163
純資産合計	10,258,197	10,343,434
負債純資産合計	14,422,906	12,907,727

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,786,863	18,470,896
売上原価	12,162,091	12,715,572
売上総利益	5,624,771	5,755,323
販売費及び一般管理費	5,176,090	5,394,002
営業利益	448,680	361,321
営業外収益		
受取利息	52	65
受取配当金	7,475	7,972
為替差益	339	—
助成金収入	1,460	1,127
その他	2,092	2,849
営業外収益合計	11,420	12,015
営業外費用		
支払利息	1,232	1,495
支払手数料	5,979	—
為替差損	—	576
その他	1,212	316
営業外費用合計	8,424	2,388
経常利益	451,676	370,948
特別利益		
固定資産売却益	435,876	—
投資有価証券売却益	57,104	—
ゴルフ会員権売却益	150	—
受取保険金	—	8,895
特別利益合計	493,131	8,895
特別損失		
固定資産除却損	11,438	0
ゴルフ会員権退会損	4,591	—
災害による損失	—	6,261
貸倒引当金繰入額	—	200
役員退職慰労引当金繰入額	30,421	—
お別れの会関連費用	21,737	—
特別損失合計	68,189	6,461
税金等調整前当期純利益	876,618	373,383
法人税、住民税及び事業税	301,191	73,377
法人税等調整額	△56,602	67,791
法人税等合計	244,589	141,169
当期純利益	632,029	232,213
親会社株主に帰属する当期純利益	632,029	232,213

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
当期純利益	632,029	232,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,671	△56,122
為替換算調整勘定	△173	△2,176
退職給付に係る調整額	3,998	△12,604
その他の包括利益合計	△8,846	△70,902
包括利益	623,183	161,310
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	623,183	161,310
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	814,340	1,043,871	7,725,749	△25,070	9,558,890
当期変動額					
剰余金の配当			△76,085		△76,085
親会社株主に帰属する当期純利益			632,029		632,029
自己株式の取得				△704	△704
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			555,944	△704	555,240
当期末残高	814,340	1,043,871	8,281,693	△25,774	10,114,130

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	164,502	9,950	△21,539	152,912	9,711,803
当期変動額					
剰余金の配当					△76,085
親会社株主に帰属する当期純利益					632,029
自己株式の取得					△704
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,671	△173	3,998	△8,846	△8,846
当期変動額合計	△12,671	△173	3,998	△8,846	546,393
当期末残高	151,830	9,777	△17,540	144,066	10,258,197

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	814,340	1,043,871	8,281,693	△25,774	10,114,130
当期変動額					
剰余金の配当			△76,073		△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益			232,213		232,213
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			156,139		156,139
当期末残高	814,340	1,043,871	8,437,833	△25,774	10,270,270

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	151,830	9,777	△17,540	144,066	10,258,197
当期変動額					
剰余金の配当					△76,073
親会社株主に帰属する当期純利益					232,213
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△56,122	△2,176	△12,604	△70,902	△70,902
当期変動額合計	△56,122	△2,176	△12,604	△70,902	85,236
当期末残高	95,707	7,601	△30,145	73,163	10,343,434

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	876,618	373,383
減価償却費	156,170	238,067
受取利息及び受取配当金	△7,528	△8,038
支払利息	1,232	1,495
為替差損益 (△は益)	△268	1,060
固定資産売却損益 (△は益)	△435,876	—
固定資産除却損	1,438	0
ゴルフ会員権退会損	4,591	—
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△150	—
受取保険金	—	△8,895
災害損失	—	6,261
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	200
投資有価証券売却損益 (△は益)	△57,104	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,396	△5,080
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	41,158	△203,854
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	44,045
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16,907	18,713
未収消費税等の増減額 (△は増加)	28,199	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	50,038	16,731
売上債権の増減額 (△は増加)	△263,380	371,729
たな卸資産の増減額 (△は増加)	309,782	△131,582
仕入債務の増減額 (△は減少)	268,921	△689,985
その他	92,131	△67,871
小計	1,058,465	△43,619
利息及び配当金の受取額	7,528	8,038
利息の支払額	△1,319	△1,472
保険金の受取額	—	8,895
災害損失の支払額	—	△6,261
法人税等の支払額	△79,110	△415,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	985,564	△450,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△776,302	△512,214
有形固定資産の売却による収入	1,261,944	—
無形固定資産の取得による支出	△522	△20,950
投資有価証券の取得による支出	△7,231	△7,457
投資有価証券の売却による収入	67,231	—
ゴルフ会員権の売却による収入	1,350	—
貸付けによる支出	△1,600	△1,750
貸付金の回収による収入	710	1,499
その他の投資等の取得による支出	△797	△208
その他の投資等による収入	877	908
投資活動によるキャッシュ・フロー	545,659	△540,172
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100,000	800,000
短期借入金の返済による支出	△1,100,000	△800,000
長期借入れによる収入	363,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△60,500
自己株式の取得による支出	△704	—
配当金の支払額	△76,085	△75,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	286,210	△136,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	470	△2,823
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,817,906	△1,129,443
現金及び現金同等物の期首残高	868,336	2,686,242
現金及び現金同等物の期末残高	2,686,242	1,556,799

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、2018年11月9日開催の当社取締役会において、2018年12月20日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払い分を固定負債の「長期未払金」として表示しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

前連結会計年度において、当社グループセグメントは「食品製造販売事業」「不動産賃貸事業」をセグメント情報として開示しておりましたが、当連結会計年度から、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しいことから、報告セグメントを「食品製造販売事業」のみに変更しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整 (注)	合計
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,777,691	9,171	17,786,863	—	17,786,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,777,691	9,171	17,786,863	—	17,786,863
セグメント利益	444,882	3,797	448,680	—	448,680
セグメント資産	11,311,653	7,701	11,319,354	3,103,551	14,422,906
その他の項目					
減価償却費	155,688	482	156,170	—	156,170
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,141,988	—	1,141,988	—	1,141,988

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であり、その主なものは、当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

当社グループにおける報告セグメントは「食品製造販売事業」のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり純資産額	2,022.68円	2,039.49円
1株当たり当期純利益金額	124.61円	45.79円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—円	—円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2017年10月1日 至 2018年9月30日)	当連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	632,029	232,213
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	632,029	232,213
普通株式の期中平均株式数(株)	5,072,024	5,071,576

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当連結会計年度 (2019年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	10,258,197	10,343,434
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,258,197	10,343,434
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	5,071,576	5,071,576

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動 (2019年12月19日予定)

新任取締役候補

取締役 岡井 紀代香

(注) 新任取締役候補者 岡井 紀代香氏は社外取締役であります。